

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、当行及び連結子会社16社（前中間連結会計期間は16社）で構成され、銀行業務を中心に、リース業務等の金融サービスに係る事業を行っております。

従いまして、当行グループは、金融業におけるサービス別のセグメントから構成されており、「銀行業」、「リース業」の2つを報告セグメントとしております。

「銀行業」は、預金業務、貸出業務、有価証券投資業務、為替業務等を行っております。

なお、「銀行業」は、当行の銀行業務と連結子会社の銀行事務代行業務、信用保証業務、クレジットカード業務、有価証券投資業務、投資ファンドの運営業務を集約しております。

「リース業」は、連結子会社のいよぎんリース株式会社において、リース業務等を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	54,046	8,476	62,523	1,182	63,705	—	63,705
セグメント間の内部経常収益	272	221	493	763	1,257	△1,257	—
計	54,319	8,697	63,016	1,946	64,962	△1,257	63,705
セグメント利益	19,894	221	20,115	18	20,134	9	20,144
セグメント資産	8,317,981	62,660	8,380,642	13,919	8,394,561	△45,700	8,348,860
セグメント負債	7,624,401	38,956	7,663,357	7,403	7,670,761	△33,634	7,637,126
その他の項目							
減価償却費	2,457	12	2,469	20	2,490	△62	2,427
資金運用収益	37,481	73	37,555	3	37,559	△66	37,492
資金調達費用	2,555	59	2,614	3	2,618	△53	2,564
特別利益	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	220	0	220	—	220	—	220
（固定資産処分損）	(91)	(0)	(91)	—	(91)	—	(91)
（減損損失）	(128)	—	(128)	—	(128)	—	(128)
税金費用	5,769	74	5,843	15	5,859	0	5,860
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,382	3	2,386	14	2,400	△32	2,368

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報処理受託・ソフトウェア開発業及び証券業であります。

3. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△45,700百万円は、セグメント間取引消去であります。

(3) セグメント負債の調整額△33,634百万円は、セグメント間取引消去であります。

(4) 減価償却費の調整額△62百万円、資金運用収益の調整額△66百万円、資金調達費用の調整額△53百万円、税金費用の調整額0百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△32百万円は、セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	60,618	8,498	69,116	1,508	70,625	—	70,625
セグメント間の内部経常収益	274	186	461	887	1,348	△1,348	—
計	60,892	8,685	69,577	2,396	71,974	△1,348	70,625
セグメント利益	20,822	40	20,863	309	21,172	△0	21,172
セグメント資産	8,516,965	58,623	8,575,589	15,567	8,591,157	△44,210	8,546,947
セグメント負債	7,780,888	35,893	7,816,781	8,511	7,825,292	△32,159	7,793,133
その他の項目							
減価償却費	2,416	17	2,433	18	2,452	△44	2,407
資金運用収益	38,449	76	38,526	3	38,529	△63	38,465
資金調達費用	1,422	53	1,476	3	1,480	△50	1,429
特別利益	3	—	3	—	3	—	3
(固定資産処分益)	(3)	—	(3)	—	(3)	—	(3)
特別損失	69	—	69	0	70	—	70
(固定資産処分損)	(21)	—	(21)	(0)	(21)	—	(21)
(減損損失)	(48)	—	(48)	—	(48)	—	(48)
(金融商品取引責任準備金繰入額)	—	—	—	(0)	(0)	—	(0)
税金費用	6,069	7	6,076	93	6,170	1	6,172
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	2,243	1	2,245	10	2,256	△32	2,223

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報処理受託・ソフトウェア開発業及び証券業であります。
3. 調整額は、次のとおりであります。
- (1) セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (2) セグメント資産の調整額△44,210百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (3) セグメント負債の調整額△32,159百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (4) 減価償却費の調整額△44百万円、資金運用収益の調整額△63百万円、資金調達費用の調整額△50百万円、税金費用の調整額1百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△32百万円は、セグメント間取引消去であります。
4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。